CUBIC 個人特性分析

2008/07/16

中小企業経営者協　採用専用

1　どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱　普通　強	指数
思索型	内閉性 ： 社交意識が低い		58
	客観性 ： 思考的思慮深い		47
活動型	身体性 ： 機敏な・気軽な		39
	気分性 ： 感情のまま行動		59
努力型	持続性 ： 几帳面・忍耐力		42
	規則性 ： 常識的・順法的		55
積極型	競争性 ： 勝気な・積極的		35
	自尊心 ： 気ぐらいが高い		66
自制型	慎重性 ： 見通しをつける		73
	弱気さ ： 取越苦労・遠慮		62

■この人の中心性格は「自制・慎重性」および「積極・自尊心」であるが、「自制・弱気さ」や「活動・気分性」といった側面も本人は意識している。

●「自制・慎重性」及び「積極・自尊心」の人のパーソナリティスケッチ
自分に興味があることには、テキパキとした行動力を持って実行していく。しかし、関心のない事や自分にわからないことには、先の先までじっくりと考え、これでいけると太鼓判がおされるまでは動こうとしない。落ち着いた慎重さともいえるが、わからないことへの不安と過去の経験からか失敗をあらかじめ予測してしまう傾向ともいえる。あまり、大きな失敗をしないことは取柄として評価できる。失敗への不安は、自罰的な傾向が顕著であり、いったん問題が起こると責任を感じ、くよくよと取り越し苦労をし落ち込んでしまう自分を知っているからだと思われる。また、人に負けたくないと思うむき出しの競争心はなく、むしろ他人には寛容な性格である。無理な争いはせず、皆と協調してうまくやっていきたいと願望している。しかしそれは、ぎすぎすした人間関係に陥らないための自己防衛といえる。反対に、内面は気位いが高く、自分が周囲から評価されることを望み、それによって自尊心を満たそうとしている。一人よがりな面が多少みられる。

●もう一方の性格特性
人に負けたくないというピリピリした競争心がなく、むしろ他人には寛容な性格である。目立つより人と協調していこうとする心やさしいところがある。実力を誇示し、自分を認めさせようとして「オレがオレが」ということがなく、控えめである。

2　どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱　普通　強	指数	
日常周辺事型		52	
客観・科学型		43	
社会・経済型		26	世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。
心理・情緒型		58	相手の心情を読みとり、こまやかな配慮をしようとする。
審美・芸術型		53	

信頼係数

低　高

回答に多少あいまいなところもあるが、おおよその部分が信頼できる診断結果である。

3　基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱　普通　強	指数	
積　極　性		33	指示されたことは処理するが、つねに遠慮がちで消極的。
協　調　性		35	意見が衝突して、対人関係で問題を起こす可能性もある。
責　任　感		46	
自己信頼性		28	周りの状況によって、自分の意見や態度をかえてしまう。
指　導　性		41	
共　感　性		43	
感情安定性		36	多少の事でも理性を忘れて、気持ちの変化を行動に現す。
従　順　性		50	
自　主　性		39	指示をまって動くほうだが、大任であるとおろおろする。
モラトリアム傾向		59	今の考えや生き方について、確信がつかめず悩んでいる。

4　どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱　普通　強	指数	
達成　欲求		28	苦労をして目標を達成するよりも、安定した環境が一番。
親和　欲求		41	
求知　欲求		27	周りの環境の変化は好まず、安定した状況の中にいたい。
顕示　欲求		41	
秩序　欲求		52	
物質的欲望		50	
危機　耐性		23	危機に遭遇したりすることは、はじめから避けていたい。
自律　欲求		39	自分らしい生き方を追求するより、人の力を頼りにする。
支配　欲求		34	人の上に立ち、自分の管理下におくような事には消極的。
勤労　意欲		33	とりあえずの生活手段と考えて、勤務する可能性もある。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、
ついで「対人関係が気になる」系統の欲求群となっている。
逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。